

# 第6学年 道徳科学習指導案

日時：令和4年11月10日（木）

児童：中標津町立中標津東小学校 6年2組（34名）

授業者：中標津町立中標津東小学校 教諭 千葉 佑規

## 1. 主題名 「広い心で」

【B-11 相互理解，寛容】

## 2. 教材名 『銀のしょく台』

（出典：「新訂新しい道徳6」東京書籍）

## 3. 主題設定の理由

### （1）ねらいに対する教師の捉え（指導観）

今回の授業のねらいは「ミリエル司教の行いやジャンの気持ちについて話し合う活動を通して、自分と異なる立場を尊重するよさに気づき、相手の過ちに対し、広い心で受け止め、適切に対処しようとする心情を育てる」とした。

人の考えや意見は多様であり、その多様さを認め合い、理解しながら高め合う社会こそが豊かな社会をつくることにつながると考える。自分と異なる意見や立場を尊重し、違いを生かすことでよりよいものを生み出したり、相手の過ちに対して、適切に対処したりしていくためには「広い心」は必要なものである。

「許す」という行為に着目するよりも、その過程で相手の立場や思いを広い心で受け止め、相手を尊重し相手の立場に立って考える心情に目を向けさせたい。そして、広い心で自分と異なる意見や相手の過ちを受け止め、相手にとって何が適切なことなのかを考えられるような心情を育てたい。

### （2）児童の学習状況や実態について（児童観）

今年度、内容項目B-11（相互理解，寛容）で授業を行うのは初めてである。本学級の児童は、日常生活において、考え方や意見の違いがあっても、その理由を理解したり、伝え方を工夫したりすることで、互いのよさを認め合い、人それぞれに個性があることを理解できるようになっている。しかし、相手の意見を受け入れ、相手の立場を尊重することのできる児童もいれば、意見が異なる相手を責め立て、自己の正当性を主張する児童もいる。互いのものの見方、考え方が違うことに気付いている時期だからこそ、相手の意見や立場を尊重したり、相手の立場に立って考えたりすることで、よりよいものを生み出そうとする心情を育

てたい。

### （3）教材の活用方法（教材観）

『銀のしょく台』は、ミリエル司教が、刑務所から出たばかりで困っていたジャンを家に泊め、食事をもてなしたが、その夜、ジャンはミリエル司教の物である銀の食器を盗んで逃げる場面が描かれている。翌日、憲兵に捕まり、ミリエル司教の元へ連れてこられたジャンに「銀の食器はジャンにあげた物」と言い、さらに銀の燭台まで渡すという話である。

ジャンは一方向的に許される立場で、ミリエル司教が許す立場であることから、ミリエル司教を中心に考えていくことで、児童が相手の立場を尊重することや、相手の過ちに適切に対処することについて考えを深めていくことができると思う。

以上の理由から、相手の立場に立って考えたり、相手の過ちなどを受け止める心情を考えたりすることに適した資料であると思う。

## 4. 研究とのかかわりから

### （1）頭が働く指導過程

本時の導入では、「心が広い人」とはどういうことなのかを考えることで価値の方向付けをする。教材を読み聞かせ「ミリエル司教は心が広い」という考えを共有する。そして、展開前段でミリエル司教の行動の理由について考える。また、立ち尽くすジャンの気持ちを考えることで、ミリエル司教の思いをジャンがどのように受け止めているのかを考える。ミリエル司教の行動の裏にある思いを考えていくことで、異なる立場の相手を受け止め、相手のことを考えた行動をすることが「心の広さ」につながるということを考えさせたい。

### （2）心が動く発問

ミリエル司教の行為は、理解しがたいという気持ちを共有する。そして、ミリエル司教がジャンに伝えたかったことを考えることで、行動の裏にある「広い心」とはどういう心情なのか考えを深めていくようにしたい。

## 5. 本時について

### (1) 本時のねらい

ミリエル司教の行いやジャンの気持ちについて話し合う活動を通して、自分と異なる立場を尊重するよさに気付き、相手の過ちに対し、広い心で受け止め、適切に対処しようとする心情を養う。

### (2) 本時の展開

|             | ○主な学習活動 ・ 予想される児童生徒の反応   | □教師のかかわり   |
|-------------|--|--|
| <b>導入</b>   | <p>○「心が広い人」とは、どのような人のことか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何でも許す人</li> <li>・やさしい人</li> <li>・すぐに怒らない人</li> <li>・細かいことを気にしない人</li> </ul>   | <p>□児童の発言を受け止めながら、板書し、価値の方向付けをする。</p>  |
| <b>展開前段</b> | <p>○「銀のしょく台」の教材文を聞く。</p> <p>○ミリエル司教の行いについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャンを許した</li> <li>・ジャンに銀の食器を渡した</li> <li>・憲兵に本当のことを言わなかった</li> <li>・ジャンに銀のしょく台も渡した</li> </ul> <p>○ミリエル司教の行動の裏にある思いについて考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p><b>ミリエル司教が、ジャンに伝えたかったことは何だろう？</b></p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャンを信じるから、立ち直ってほしい。</li> <li>・更生して、人生をやり直してほしい</li> </ul> <p>○立ち尽くしていたジャンの気持ちについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これからは、改心して生きようと思っている</li> <li>・ミリエル司教に感謝している</li> <li>・本当に届いているかどうかは分からない</li> </ul> | <p>□物語の時代背景やあらすじについて確認する。</p> <p>□ミリエル司教の行動の裏にある「広い心」について深められるように発問をしていく。</p> <p>□タブレットで記入する。</p>  |
| <b>展開後段</b> | <p>○「心が広い人」とはどのような人か考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の立場に寄りそえる人</li> <li>・相手のためになることを考えられる人</li> <li>・相手のことを考えた上で許す人</li> <li>・人間許せないこともあるが、心が狭いわけではない</li> </ul>  | <p>□理由を問い返すことで、どの立場で考えているかを明らかにできるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p><b>相手のことを考える<br/>広い心で受け止める<br/>相手に向き合う</b></p> </div> |
| <b>終末</b>   | <p>○今日学んだことについてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心が広いとは、やさしいことと考えていたが、相手のことを考えることも必要だと思った</li> <li>・心が広いとは、何でも許すことだと思っていたが、実際には難しく大変なことだと思えるようになった</li> </ul>  | <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>&lt;評価&gt;【発言・タブレット】</p> <p>「広い心」について考える活動を通して、相手を尊重することで生まれるよさについて表現している。</p> </div>   |